

製品名: Hsp105 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86281

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:97 kDa; Observed MW:105 kDa

抗原情報

遺伝子名	Hsp105
別名	HSP105; HSP105A; HSP105B; NY-CO-25
遺伝子ID	10808
SwissProt ID	Q92598
免疫原	ヒト Hsp105 の合成ペプチド

背景

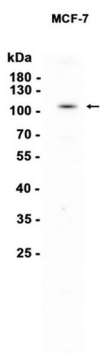
この遺伝子は、熱ショックタンパク質 70 ファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、分子

シャペロン熱ショック同族 71kDa タンパク質 (Hsc70) のヌクレオチド交換因子として機能します。さらに、このタンパク質は、囊胞性線維症膜コンダクタンス制御因子 (CFTR) タンパク質を含むミスフォールドタンパク質の凝集を阻害する、ホールドアーゼとして、異なる役割を担っていますが、関連する役割も担っています。このタンパク質の発現亢進は、多くのヒト癌において観察されています。[RefSeq 提供、2017年3月]

研究分野

-

画像データ



Hsp105 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。